

期末テストが終わり館内では
図書委員会がツリーを飾りました。
冬休みの特別貸し出しもはじまりましたので、
冬休みになる前にぜひメディアセンターへ。



■ 今月の新着図書から ■



『リアル ノート&メモ術』 分類 002
戸田 覚 / SE SHOEISHA

PC やスマホの普及でノートアプリも充実してきました。しかしあえて手書きで記録やメモをとる利点はどのようなところにあるのでしょうか？さまざまなジャンルで活躍する達人たちのノートを紹介。



『それはわたしが外国人だから？』 329
安田 菜津紀 / ヘウレーカ

「多様性を大切にしよう」というけれど、本当に多様な人たちの権利は守られているのでしょうか？ 自国に帰ると命の危険がある外国人が、日本の入管で受けた現実を語る。



『こちら、沖縄美ら海水族館動物健康管理室』
岩貞るみこ / KODANSHA

巨大な水槽で悠々と泳ぐジンベイザメやマンタ。美ら海水族館で大人気の水槽です。ここですべての生き物の健康を管理しているのが「動物健康管理室」。すごいチームワークですよ！



『頂を目指して』 分類 783
石川 祐希 / 徳間書店

バレーボール日本代表のキャプテンをつとめた石川祐希選手。オリンピックでは残念な結果となりましたが、彼がイタリアのプロリーグで活躍をしている姿は、後輩たちが海外のリーグに移籍する大きな後押しとなりました。どんな頂を目指しているのかはぜひこの本で。



『彗星を追うヴァンパイア』 分類 913
河野 裕 /

17 世紀のヨーロッパが舞台。タイトルの印象からは完全にファンタジーだと思いましたが、SF 寄りの作品です。科学に興味をもったヴァンパイアが 1300 年の間に会ったさまざまな科学者を通じ、「不死のヴァンパイア」の謎に挑む。伏線回収が完璧。



『全校生徒ラジオ』 分類 913
有沢 佳映 / KODANSHA

全校生徒が 4 人しかいない田舎の学校で、4 人の雑談をポッドキャストで配信していく。15 回の配信分という設定で書かれていますが、やりとりを音声で聴きたくなる内容。大きな事件がおきるわけでもなく、日常的やりとりがこの小説をリアルにさせています。

たにかわしゅんたろう
詩人 谷川俊太郎さん 特設コーナー

日本を代表する詩人、谷川俊太郎さんが11月13日に92歳で亡くなりました。

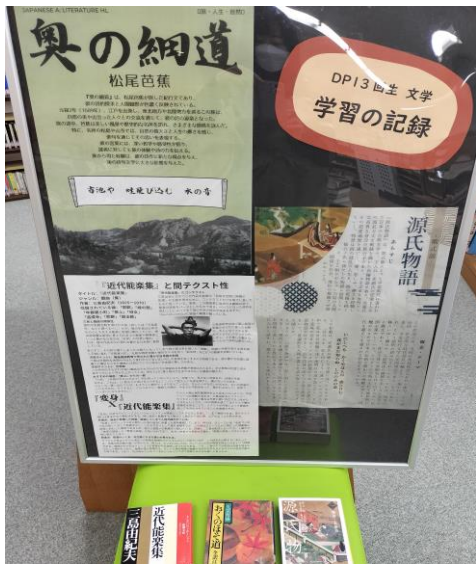
教科書はもちろん、絵本『スイミー』の翻訳など、多くの作品を残し、子どもから大人まで、世代をこえて親しまれた方でした。

谷川さんの名前を忘れていた人も、「かっばかっばらった・・・」と有名な詩の冒頭を聞いただけで、すぐに思い出したようです。

現在館内に特設コーナーを設けましたので、期末が終わってほっとした束の間、谷川さんの詩を読んでみませんか？



DP13回生「学習の記録」展



DP6年(13回生)が文学で学んだ「学習の記録」を1枚のポスターとして発表し、メディアセンターで展示中です。DP生がどういう作品を読み、どんな学びが得られたのか、これからDPコースを考えている人はもちろん、DP以外の人にも、DP文学の学びを知るいい機会です。学習で取り上げた文学作品もポスターとともに展示しています。こちらは貸出しをしますので、冬休みに読んでみたい人はぜひどうぞ！

<13回生がDPで学習した文学作品>

『人形の家』イブセン、『変身』フランツ・カフカ、『ペルセポリス』マルジャン・ツサトラピ、『奥の細道』松尾芭蕉、『源氏物語』紫式部、『近代能楽集』三島由紀夫、『砂の女』安部公房、『わたしを離さないで』カズオ・イシグロ、『ころ』夏目漱石、『智恵子抄』高村光太郎、『自選谷川俊太郎』谷川俊太郎、『父と暮せば』井上ひさし

本棚 詩人、谷川俊太郎さんが先月亡くなりました。昔から今と変わらぬ風貌で、このままずっと詩を書き続けてくださるように思っていました。日本では短歌や俳句もあり、「詩」がさほど身近には感じられていないと聞きますが、谷川さんの詩は子どもから大人まで、思わず口ずさみたくなるような言葉の巧みさがありました。亡くなる約三週間前まで詩を書き続け、遺作が今月発売の雑誌「新潮」に掲載されます。その作品の最後には「命あるすべての不死を密かに寿(ことほ)ぐ」と結ばれているそうです。まもなく冬休み。静かに谷川さんの詩集を手にとり、彼の言葉をたどってみたいと思います。(渡)